



◀自分の手形を見つけて、手を当てる児童。

布部ダム 50周年を記念して

将来を担う子どもたちにダムに親しみをもってもらおうと布部ダム完成 50周年記念パネルが製作され、3月19日に除幕式が行われました。

当日は、製作に関わった布部小学校の児童12人が出席。ダムの天端ゲート付近に設置されたパネルが披露されました。このパネルは情報科学高校の美術部の生徒が、ダムを中心とした飯梨川をイメージした絵を描き、そこに同校児童の手形が加えられています。

島根県布部ダム管理課長の小塚さんは「子どもたちにはこの絵を覚えておいてもらって、何年か経ってからまた見に来てほしい」と話していました。

▶歴史雑誌「歴史人 2019.5月号」の表紙。税込 800円。全国の書店で販売されています。



月山富田城跡が歴史雑誌の企画で唯一の満点評価

歴史雑誌の企画で、月山富田城跡が全国158城の中で唯一の満点評価を受けました。雑誌「歴史人（発行：KKベストセラーズ）」2019年5月号で「戦国の山城大全」が特集され、全国各地の山城を山城満足度として数値化。評価の項目には、歴史的的重要性、土塁・石垣・堀、規模、立地、曲輪配置、整備状況、アクセス、登りやすさがあります。

月山富田城はいずれの項目も高評価で総合点が100点。とくに、現在、市が進めている整備事業によって、城郭の主要部の木々が伐採されているため「探索しやすい点」も高い評価を受けています。このため、竹田城（兵庫県）や七尾城（石川県）、高

たっぴくす



まちの話題や出来事をご紹介します



西谷交流センターで見つけたオキナグサ（翁草）。白く長い毛を持つことから翁にたとえられています。環境省の絶滅危惧Ⅱ類に指定されている貴重な花です。（4月8日）

今月の一枚



記事の画像をフェイスブックで紹介



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック（FB）」で公開しています。

右のQRコードは「安来市公式FB」のトップページを表示することができます。



天神城（静岡県）などを押さえて、唯一の満点となりました。

この結果を受けて市では、歴史資料館や観光交流プラザなどに縦幕を設置し、観光客などに対して「全国の山城で最高の評価」であることをアピールしています。

喜びの出場・受賞



▲第16回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会に出場した「伯太クラブジュニア」の選手と関係者の皆さん。試合では6年生がチームを引っ張り、粘り強く戦いました。



▲「キラ☆キッズ」と「やすぎ^{ひととき}女男輝り会」が島根県民いきいき活動奨励賞を受賞し、知事表彰を受けました。「キラ☆キッズ」は子育て支援活動、「やすぎ女男輝り会」は男女共同参画の輪を広げる活動をしています。



▲公共データを活用して地域課題解決を目指す全国コンテスト「アーバンデータチャレンジ2018」。このコンテストのアクティビティ部門で情報科学高校の生徒が金賞を受賞しました。

ダンボールクラフトに挑戦

身近な素材である段ボールを使った「春休みダンボールクラフト教室」が3月24日、やすぎ懐古館一風亭で開催されました。講師は森っ子作家の栗原哲朗さん。参加者は、用意された6種類のテーマから選んだ作品づくりに挑戦しました。

このうち「木の実の飾り」は立体的なハート形を段ボールで作り、和紙や木の实などを貼り、飾っていきます。友達同士3人で参加した井村里美さん(小学5年生)は「飾った時に見栄えがするように木の实の並べ方を工夫しました。自分の部屋に飾ります」と話していました。



◀ブナやカラマツ、ヒノキの実などを貼り付けていきます。



▲ひな人形の見比べを楽しむ来場者。

ひな人形がお出迎え



華やかなひな人形などが家々に飾られるやすぎのひなめぐり。「尼子の里のおひなまつり」、「白樺の里のひなまつり」、「城下町母里のおひなまつり」が3月30日から4月上旬まで開催されました。

期間中は交流センターやその周辺の家の軒先に年代がさまざまなひな人形を飾り付け。来場者はひな飾りに囲まれてお茶を飲んだり、年代ごとの人形の表情の違いを楽しんだりしていました。

松江市から来た宮野健嗣さんは「安来のひなまつりは初めて来ました。町中がきれいに飾り付けられていて感動しました」と話していました。

